



# 第7回 ITS シンポジウム 2008

ヒトを見据えて～ Human Oriented ITS の実現のために  
2008年12月4日(木)～5日(金)

## Final Program

会場 日本大学津田沼キャンパス 生産工学部 37号館

主催 特定非営利活動法人 ITS Japan

共催 日本大学生産工学部

協賛 (社)計測自動制御学会, (社)交通工学研究会, (社)自動車技術会, (社)情報処理学会, (社)人工知能学会, (社)電気学会  
(社)電子情報通信学会, (社)土木学会, (社)日本機械学会, 日本交通心理学会, (社)日本ロボット学会  
情報処理学会 ITS 研究会, 同コンピュータビジョンとイメージメディア研究会, 同ユビキタスコンピューティングシステム研究会  
電子情報通信学会 ITS 研究会, 同パターン認識・メディア理解研究専門委員会

12月4日(木)  
9:30 開場

### 10:00-10:20 開会式

101 教室

実行委員長挨拶 景山 一郎 日本大学生産工学部機械工学科 教授  
主催者挨拶 寺島 大三郎 ITS Japan 専務理事

### 10:20-11:50 ONS/1-1 企画セッション 1-1

#### 都市×プローブパーソン～観測革命は都市をどう変えるか？～

101 教室

センシング技術の進展による観測革命は ITS のユーザーサービスだけではなく、都市再生や総合防災計画、環境モデル都市、都市文化論といった様々な都市政策に対して影響を与えようとしている。多量かつ高精度な人の行動データの計測と蓄積は ITS の技術開発のフェイズをも大きく変容させる可能性が高い。本セッションでは、多量で高精度な人の移動・活動履歴を計測するプローブパーソン技術の最新の研究成果を下敷きに、都市交通戦略や防災総合計画、環境モデル都市といった分野横断的なテーマに対して、こうしたプローブパーソン技術をどう援用していけるのか、都市交通政策への新展開について掘り下げて議論したい。

モデレータ: 羽藤 英二 東京大学大学院工学系研究科 准教授  
講演: 朝倉 康夫 神戸大学大学院工学研究科 教授  
羽藤 英二 東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻 准教授

(11:50-12:50 昼食)

### 12:50-15:20 DLS/1 対話セッション 1

12:50-13:15 概要紹介(シヨットガン) 101 教室  
13:15-14:50 ポスタープレゼンテーション 2階セッション会場 202/203/204/205 教室  
14:50-15:20 質疑応答 2階セッション会場 202/203/204/205 教室

注) \*を付した論文は査読つき論文として審査を通過し Peer-Review Proceedings に掲載されます

### DLS/1-A 「ヒトと誘導に関する新技術と施策」

202 教室

モデレータ: 山本 俊行 名古屋大学大学院工学研究科 准教授

- 1-A-01\* 「時空間 MRF 技術の歩行者センサへの応用」(萩原祥行, 有間康二, 菅原尚洋, 上條俊介)
- 1-A-02\* 「カメラネットワークによる広域的な複数人物追跡」(兵動靖英, 藤村嘉一, 湯浅慎也, 内藤丈嗣, 上條俊介)
- 1-A-03 「ステレオ視を用いた歩行者認識手法の比較検証」(外谷文人, 吉田武史, 胡振程, 内村圭一, 久保田整, 小野勝一)
- 1-A-04\* 「制約つき最適経路探索アルゴリズムの提案—車いす利用者の移動支援システムの構築に向けて—」(川辺俊宏, 小畑経史, 原恭彦)
- 1-A-05\* 「横断歩道形状を考慮した視覚障がい者の横断支援システムの実験評価」(鈴木弘司, 藤田素弘, 渡邊雄太, 福蘭一幸)
- 1-A-06\* 「柏の葉キャンパスにおける自転車共同利用サービスの利用実態とポート配置の評価に関する研究」(渡辺美德, 羽藤英二)
- 1-A-07 「環境の共有感に着目した理解しやすい情報提示手法の検討」(河村真吾, 竹内勇剛)
- 1-A-08\* 「高速道路における路車協調型安全運転支援システムのドライビングシミュレータによる評価」(藤村嘉一, 木間俊宏, 大門樹, 上條俊介)
- 1-A-09\* 「クリーンツーリズム施設への案内体系が抱える問題の抽出と改善方策の提案」(清水哲夫, 花谷仁志, 宇田川東, 添田俊雄)
- 1-A-10\* 「GPS 携帯を活用した遍路行動調査に関する研究」(松本修一, 花房比佐友, 貞廣雅史, 堀口良太, 岡村健志, 熊谷靖彦)
- 1-A-11\* 「「北の道ナビ」に見る経路に沿った道路情報提供の効果について」(緒方聡, 松島哲郎, 松田泰明, 加治屋安彦, 星野洋, 正岡久明)
- 1-A-12\* 「北海道における外国人観光客への魅力向上と情報ニーズ」(松島哲郎, 松田泰明, 加治屋安彦, 緒方聡, 山田貴志, 星野洋)

### DLS/1-B 「ITS のための検知・検出技術」

203 教室

モデレータ: 堀口 良太 (株)アイ・トランスポート・ラボ 代表取締役

- 1-B-01\* 「デジタル地図の簡略化によるデータ量削減」(河野将人, 鯨津宏樹, 植村匠, 内村圭一, 胡振程, )
- 1-B-02 「地震災害前後の空撮画像の自動位置合わせ」(小林真紀, 田村裕之, 佐治斉)
- 1-B-03 「空撮画像と三次元データを用いた道路閉塞領域の自動検出」(丸地絢子, 田村裕之, 浦部和哉, 佐治斉)
- 1-B-04\* 「連続的な高さ・幅特徴量を用いた市街地における車載カメラ画像と建物モデル間の対応付け」(王金戈, 小野晋太郎, 池内克史)
- 1-B-05\* 「全方位画像列を用いた車両運動の高精度推定に関する基礎研究」(松久亮太, 川崎洋, 小野晋太郎, 阪野貴彦, 池内克史)
- 1-B-06 「RANSAC を用いた道路標識認識のための円形抽出」(高見正憲, 平井有三)

- 1-B-07\*「青色方向指示標識の実時間認識」(モハメド・ハッヤン・アルシバイ, 平井有三)
- 1-B-08 「自動ワイパ制御に向けた雨滴誤検出低減手法の検討」(松本康志, 合田陽一, 吉川忠孝)
- 1-B-09 「自転車走行中に携帯電話操作を行う運転者の視線計測」(尾林史章, 小林一信, 小塚一宏)
- 1-B-10\*「ステレオビジョンを用いた Occupancy Grid Maps による前方障害物検出手法に関する研究」(小原賢治, 菅沼直樹, 根岸辰行, 南里卓也)
- 1-B-11 「RFID を活用した路肩・歩行者の検出に関する考察」(富樫宏謙, 山田茂樹)
- 1-B-12 「センサーフュージョンによる歩行者検出」(陸哲元, 大町拓也, 胡振程, 内村圭一, 久保田整, 小野勝一)

### DLS/1-C 「安全運転と車両運動制御」

204 教室

モデレータ: 大須賀 美恵子 大阪工業大学工学部生体医工学科 教授  
鈴木 高宏 東京大学大学院情報学環 准教授

- 1-C-01\*「高齢ドライバーの日常走行でのインシデント研究」(蓮花一己)
- 1-C-02 「高齢者の視覚特性を考慮した夜間視覚支援システム構築に関する基礎的検討」(遠藤哲也, 栗谷川幸代, 景山一郎)
- 1-C-03\*「ミラー確認能力の測定検査とトレーニングに関する一考察」(木平真, 伊藤安海)
- 1-C-04 「自動車教習所向け高齢者の運転機能測定シミュレータの開発」(平岡雅丈, 春日部利明, 松田克巳, 山崎初夫, 山本修身, 山田宗男, 山本新, 中野倫明)
- 1-C-05 「ドライブレコーダを用いた教習所における運転教育方法に関する研究」(脇川顕多, 道辻洋平, 永井正夫)
- 1-C-06 「安全運転管理教育システム(ASSIST)における長距離トラックの安全運転度解析」(林政喜, 合志和晃, 松永勝也)
- 1-C-07 「四輪操舵バスの車線追従制御に関する研究」(河野有基, 金子哲也, 景山一郎)
- 1-C-08 「電気自動車におけるロールスタビリティ制御に基づいた自動走行支援システム」(河島清貴, 内田利之, 堀洋一)
- 1-C-09 「モータアシスト AMT 自動車の駆動力制御」(藤井毅, 内田利之, 堀洋一)
- 1-C-10 「最大伝達可能トルクの推定による電気自動車の新しい空転防止制御」(殷徳軍, 堀洋一)
- 1-C-11\*「路面すべり抵抗モニタリングシステムの構築」(高橋尚人, 徳永ロベルト, 舟橋誠)

### DLS/1-D 「通信・車両などの新技術開発と応用」

205 教室

モデレータ: 長谷川 孝明 埼玉大学大学院理工学研究科 教授

- 1-D-01\*「放送型路車間通信における車車間通信によるプッシュ型損失パケット補間法の性能改善手法」(橋浦康一郎, 羽瀨裕真)
- 1-D-02 「階層型変調法を用いる放送型路車間通信における通信距離性能について」(岡祐介, 羽瀨裕真, 大内浩司, 橋浦康一郎)
- 1-D-03 「RF-ID を用いた路車間通信およびナビゲーションシステムについて」(川村武, 山本剛久, 山本悦崇, 菅原宣義, 柏達也)
- 1-D-04\*「トンネル内に配置された ETC 料金所の電波環境とその改善に関する検討」(若林美之, 鈴木洋平, 山田淳二, 橋本修)
- 1-D-05 「DSRC-ETC の適用フィールドの拡大に向けた調査検討」  
(岡村幸壽, 吉井勝己, 山本竜男, 的場健, 清水光男, 水木智英, 周藤浩司, 山野亨, 久保田博章)
- 1-D-06 「共振による磁界結合を利用した非接触電力伝送 -3 次元的位置ずれに柔軟な近傍界用アンテナ」(居村岳広, 内田利之, 堀洋一)
- 1-D-07 「同軸電動二輪車のロバスト制御」(胡家勝, 蔡明祺, 堀洋一)
- 1-D-08 「新たな小型可搬式電動交通手段利用時と歩行時の主観的な移動の質の差異に関する心理的分析」  
(太田裕之, 松本治之, 福田大輔, 藤井聡)
- 1-D-09 「ETC 利用率の高まりに配慮したレーン配置検討」(安松谷隆之, 村重至康, 舌間貴宏, 堀口良太)
- 1-D-10\*「ETC レーンにおける停止車両の削減対策検証」(新宅昭文, 伊藤俊景, 牧野信一, 東野弘道, 岡本寅雄)
- 1-D-11 「スマート IC における前進退出路の導入について」(大谷学, 牧野信一, 新宅昭文)

(15:20-15:40 休憩)

### 15:40-17:10 ONS/1-2 企画セッション 1-2

#### 移動を支える通信環境の地殻変動～ITS 通信の動向と課題～

101 教室

本企画セッションでは、現在、セカンドステージにある ITS における、安全・安心、豊かさ・環境、快適・利便といった様々なサービスシーンの実現を下支えし、また活用の期待されている ITS 通信に関する最新の動向と課題について、4 人の専門家による招待講演を行う。講演内容は、ITS 通信全般における現状と周波数再利用も含めた動向、標準化等の国際動向、通信を利用したシステムの効果評価についての研究、さらに、本年 12 月から予定されている安全運転支援システムの大規模実証実験の通信技術についてなどを予定しており、多数のご参加と活発な議論を期待する。

モデレータ: 加藤 晋 産業技術総合研究所知能システム研究部門 主任研究員

講演: 「ITS 通信の現状と動向」  
伊丹 誠 東京理科大学基礎工学部電子応用工学科 教授  
「ITS 通信の国際動向」  
小山 敏 (株)日立製作所 トータルソリューション事業部道路交通システム部 担当部長  
「安全通信の利用における効果の推定」  
関 馨 (財)日本自動車研究所 ITS センター標準化グループ主席研究員  
「2008 年度安全運転支援システムの大規模実証実験の通信技術」  
徳田 清仁 沖電気工業(株) 情報システム事業グループ SS 社無線技術研究開発部 部長

(17:10-17:20 休憩)

17:20- パンケット

1 号館 3 階大会議室

12月5日(金)

8:30 開場

9:00-10:30 ONS/2-1 企画セッション 2-1

高齢社会に求められる ITS とその課題

101 教室

ITS において一般ユーザが最も期待しているのは、やはり自動運転システムであると思われる。しかし、技術的な開発状況としてはかなりそれに近いレベルに達していながら、製造物責任や瑕疵の観点から開発側にとって自動運転システムの実現には大きな壁があり、運転者が最終責任を負う形での運転支援という限定された状況であるのが現状である。

しかし超高齢社会となったわが国では、特に地域においては高齢者が車なしでは暮らせない状況が各地で存在し、さらには認知症運転者による交通事故が社会問題化している今、改めて ITS が果たすべき役割とそのあり方について、クリアすべき課題を洗い直し、問い直すことが必要ではないだろうか。本セッションでは、社会、技術、法といったそれぞれの立場からこの問題に取り組む3名の方々を迎え、高齢社会に必要とされる ITS の方向性について多角的な議論を行いたい。

モデレータ: 大口 敬 首都大学東京大学院都市環境科学研究科 教授

講演: 「高齢社会における交通問題にITS技術は答えられるのか」  
景山 一郎 日本大学 生産工学部機械工学科 教授  
「法的側面から見た ITS -高齢ドライバー対応を中心として」  
山下 友信 東京大学大学院法学政治学研究科 教授  
「認知症ドライバーと ITS 社会への課題と期待」  
上村 直人 高知大学医学部神経精神科学教室 講師

(10:30-10:50 休憩)

10:50-12:20 ONS/2-2 企画セッション 2-2

ヒトと機械のシナジー～共創に向けて～

101 教室

ヒト(ドライバー)と機械(車)が個性をもった1つのユニットを成し、ITSという場で、車の運転が行われる。稲垣先生には「運転支援システムを導入すると過信が生じるのではないか」といった議論に潜む落とし穴や、「ヒトに優しいシステムにするとの名目のもとで機械がヒトの意向に逆らうことは許容されるか」といったテーマを取り上げ、ヒトと機械の共創を考察していただく。三宅先生には、危険に気づくためにはヒトの意識下の情報処理が必要で、ドライバーの身体感覚を拡張することが気づきの支援につながるという共創的な視点から問題提起をいただく。その後、フロアからの発言も交えて議論を深める。ヒトとクルマの関係を捉えなおす機会となればと考える。

モデレータ: 大須賀 美恵子 大阪工業大学工学部生体医工学科 教授

講演: 「信頼と権限:ヒトと機械の共創の視点から」  
稲垣 敏之 筑波大学大学院 システム情報工学研究科 教授  
「気づきの支援技術としての共創的 ITS」  
三宅 美博 東京工業大学 大学院総合理工学研究科 教授

(12:20-13:20 昼食)

13:20-15:50 DLS/2 対話セッション 2

13:20-13:45 概要紹介(ショットガン)

101 教室

13:55-15:20 ポスタープレゼンテーション

2 階セッション会場 202/203/204/205 教室

15:20-15:50 質疑応答

2 階セッション会場 202/203/204/205 教室

注)\*を付した論文は査読つき論文として審査を通過し Peer-Review Proceedings に掲載されます

DLS/2-A「交通流の計測と管理」

202 教室

モデレータ: 羽藤 英二 東京大学大学院工学系研究科 准教授

2-A-01\*「バスプローブデータに基づくバス停間所要時間予測」(衛藤旭秀, 内村圭一, 胡振程)

2-A-02 「フローティングカーシステムにおけるイベントによるリンク旅行時間への影響に関する考察」(益田卓朗, 中野敬介, 柘植正邦, 仙石正和)

2-A-03 「狭帯域(DSRC)通信を活用した予測旅行時間計測技術への取り組み」(江口傑, 藤田友一郎, 山本浩司, 金子繁樹, 盛岡祐一)

2-A-04 「タクシードロブデータによるリンク走行速度分布の特性」(伊藤雅, 山谷直人, 堤盛人, 石田東生)

2-A-05 「交通異常検出装置が検知する車両走行速度の精度検証」(田畑大)

2-A-06 「DSRC プロブデータの活用に関する実証的検討」(畠中秀人, 鹿野島秀行, 平沢隆之, 今村知人, 人重柏陽介, 井上洋, 大嶋徹, 竹中憲郎)

2-A-07\*「ITS 車載器からの走行履歴情報の活用に関する基礎分析」(塚田幸広, 福島広志, 千葉尚, 中嶋康博)

2-A-08 「Cell-ID 方式携帯プローブによる動線観測実験」(八木浩一)

2-A-09\*「医療情報デジタル伝送システム導入のためのアンテナ設置方策の検討～石川県加賀地域を事例として～」(高山純一, 中山晶一郎, 福田正輝, 岩井慎太郎)

2-A-10\*「ベジアンネットワークを援用した逐次的目的地予測手法の精度検証」(松村草也, 羽藤英二, 渡部眞幸, 中山沖彦)

2-A-11 「道路交通ネットワークにおける選択経路沿道の排気ガスを考慮した通行料金の最適化」(ジャクラ・ナタラズ)

DLS/2-B「交通・ドライバ・車両の計測と制御」

203 教室

モデレータ: 大前 学 慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科 准教授

2-B-01 「衛星画像を用いた車両密度の自動算出」(新村文郷, 小川住雄, 佐治斉)

2-B-02 「時系列航空画像とデジタル地図を用いた車両自動抽出」(河合尚哉, 佐治斉)

2-B-03\*「高速道路における画像センサによる路車協調型安全運転支援システムの開発」(藤村嘉一, 木間俊宏, 上條俊介)

- 2-B-04 「一次元メディアフィルタを用いた市街地画像からの電線除去手法の提案」(王金戈, 小野晋太郎, 池内克史)
- 2-B-05 「順応を考慮した香り提示によるドライバの覚醒効果」(船戸宏徳, 吉川真人, 川澄未来子, 山本新, 山田宗男, 柳田康幸)
- 2-B-06 「瞳孔変化と操舵特性に基づく飲酒状態検知に関する検討」(毛利佳之, 伊藤広太, 山本修身, 中野倫明, 山田宗男, 山本新)
- 2-B-07 「ドライバに対する音楽の聴取音圧の覚醒維持効果」(横山真由, 小栗宏次)
- 2-B-08 「車内での不審行動および不審者侵入の検知によるセキュリティシステムの検討」(鈴木勇太郎, 小林啓一郎, 山本修身, 中野倫明, 山本新, 山田宗男)
- 2-B-09\* 「眼瞼映像を用いたドライバーの覚醒状態評価」(野口祥宏, ノブスワンチャイルド・プロジェクト, 大須賀美恵子, 鎌倉快之, 井上裕美子)
- 2-B-10 「脳波及びペダルストローク解析によるドライバの注意力低下状態評価」(川喜田英士, 小栗宏次)
- 2-B-11 「首都高埼玉大宮線 オプティカル・ドット -適切な走行支援のためのシークエンスデザイン-」(韓亜由美, 池田博久, 佐々木正人, 池内克史)
- 2-B-12 「ウェブベース縦断線形データベースの構築とその応用」(富井建, 蒔苗耕司)

## DLS/2-C 「交通安全の要素技術と施策評価」

204 教室

モデレータ: 鈴木 高宏 東京大学大学院情報学環 准教授

- 2-C-01 「免疫ネットワークを用いた車両協調システムによる錯綜状況の回避」(結城知彦, 森正嘉, 鈴木高宏, 國井康晴, 桑原雅夫)
- 2-C-02 「車両錯綜状況下における個人特性を考慮した車線変更モデルのパラメータ同定」(森正嘉, 結城知彦, 貴志泰久, 河合諭司, 奥住宏, 鈴木高宏, 國井康晴)
- 2-C-03 「ドライバ間の運転行動の相互作用」(内田和宏, 長島裕也, 紀平和俊, 山田啓一)
- 2-C-04\* 「ドライビングシミュレータによるエコドライブ走行の燃料消費率低下効果に関する定量評価」(平岡敏洋, 寺門康弘, 松本修一, 山邊茂之)
- 2-C-05 「路面状況がシレンマゾン走行時における運転挙動に及ぼす影響—ドライビングシミュレータによる分析—」(織田利彦, 須田義大, 田中伸治, 山口大助)
- 2-C-06\* 「トルコ国カイセリ市のカウントダウン式車両用信号機における車両挙動実態分析」(藤田素弘, 鈴木弘司, ユルマズ・ジハット)
- 2-C-07 「ドライブレコーダを活用した交差点黄信号における運転者の急停止判断を引き起こす交通環境要因分析」(鈴木貴之, 道辻洋平, 永井正夫, 小竹元基, 鎌田実, 茂呂克己)
- 2-C-08 「小交差点における危険進入車両への路側警告のための挙動判別アルゴリズムの分析」(三谷哲雄, 山中英生, 明揚, 入谷忠光, 須藤晃成)
- 2-C-09 「タクシープローブデータを用いたスリップ情報提供システムによる冬期道路のすべり特性解析」(浜岡秀勝)
- 2-C-10 「交通事故データとプローブカーデータを用いた潜在的交通事故危険度に関する研究」(寺田昌由, 山本俊行, 三輪富生, 森川高行)
- 2-C-11\* 「道路交通安全対策の効果計測におけるプローブカーデータの適用可能性に関する検討」(網田裕一, 北村清州, 中村俊之, 中嶋康博, 牧村和彦, 高橋誠, 森川高行)
- 2-C-12\* 「中山間部における学童安全対策に関する取り組み」(松本修一, 永原三博, 筒井啓造, 北川尚, 久保博道, 熊谷靖彦)
- 2-C-13\* 「駐車場周辺の交通安全システムの検討」(森川高行, 安藤良輔, 河合正吉)

## DLS/2-D 「交通と ITS の新しい技術施策と評価」

205 教室

モデレータ: 赤羽 弘和 千葉工業大学工学部建築都市環境学科 教授

- 2-D-01 「首都高速道路ネットワークにおける信頼性評価手法の適用性に関する研究」(宗像恵子, 割田博, 岡田知朗)
- 2-D-02 「わが国の都市と農村の交流・移住政策の交通政策と ITS」(空閑睦子, 小栗幸夫)
- 2-D-03 「ITS における HCD (Human-Centered Design) の適用可能性」(山田菊子, 尾形慎哉, 平沢尚毅, 大津晶)
- 2-D-04 「“渋滞”と“混雑”を解消するメカニズムのデザイン」(和田健太郎, 赤松隆)
- 2-D-05\* 「情報管理に関する研究: 情報管理規定の策定と手順」(松実秀幸, 大和裕幸, 坪内孝太, 稗方和夫, 吉富広三)
- 2-D-06\* 「オンデマンドバスシステムにおける利用者によるバス停登録機能の開発とその効果」(坪内孝太, 大和裕幸, 稗方和夫, 杉本千佳)
- 2-D-07\* 「市民と連携した地域 ITS の展開方策について～豊田市のまちづくりを支援する ITS の取り組み～」(菊地春海, 加藤恒太郎, 加藤泰)
- 2-D-08 「スマートウェイサービスの地域への展開」(畠中秀人, 鹿野島秀行, 坂井康一, 重田良二, 岡本雅之, 今村知人)
- 2-D-09 「道路の走りやすさを反映したカーナビ等の実用化に向けた官民共同研究」(金澤文彦, 有村真二, 布施孝志, 松林豊, 湯浅直美, 橋本浩良)
- 2-D-10 「自動車から鉄道乗り換えカーナビ案内検討におけるドライビングシミュレータ活用方法の提案」(平沢隆之, 畠中秀人, 中谷光夫, 松本章宏, 三好孝明)

(15:50-16:10 休憩)

## 16:10-17:40 ONS/2-3 企画セッション 2-3

### ITS 時代の人材像～教育とビジネスの場から～

101 教室

昨年度 ITS シンポジウムの特別セッション「論戦～企業が学が言いたいこと・学が企業に言いたいこと～」では、現在の ITS 業界において技術者に求められる資質として、「システムインテグレーション技術」「異分野間の相互理解力」「長期的視座での構想力」「市場開拓能力」等々の必要性が指摘された。本企画セッションでは、これに続く位置づけとして、ITS 時代に活躍する人材像を、人材育成の入口と出口から議論してみたい。まず、入口側として、教育・アカデミズムの場からのパネリストに登壇してもらい、今後 ITS 分野で活躍する技術者を輩出する立場での、最近の取り組みについて議論していただく。また、出口側では、実務分野からのパネリストに、民間主体で IT・ITS 技術を活用した情報サービスを企画、実現(インテグレーション)した経験を通して、ビジネスの場で有用であった技術・知識等への知見を紹介していただく。

モデレータ: 堀口 良太 (株)アイ・トランスポート・ラボ 代表取締役

パネリスト: 川嶋 弘尚 慶應義塾大学大学院理工学研究科 教授  
 藤井 聡 東京工業大学大学院理工学研究科 教授  
 赤崎 まき子 (株)エイワークス 代表取締役  
 柳瀬 眞 (株)博報堂メディアソリューション推進局ビジネスディベロップメント ディレクター

## 17:40-18:00 閉会式

101 教室

プログラム委員長総括 大口 敬 (首都大学東京大学院都市環境科学研究科 教授)  
 次回プログラム委員長挨拶 藤原 章正 (広島大学大学院国際協力研究科 教授)